

学校施設の評価に係る参考例(評価項目比較一覧)イメージ

カテゴリー	カテゴリー	項目	学校評価											
			東京都 A区教育委員会	京都府 B市教育委員会	北海道 C市立小学校	東京都 D区立中学校	神奈川県 E市立中学校	石川県 F市立小学校	静岡県 G市立小学校	山口県 H市立小学校	山口県 I市立中学校	愛媛県 J町立小学校		
			自己評価 (中学校教員用)	自己評価	児童用	外部評価	教職員用	保護者用	自己評価	教員用	教職員用	教職員用	自己評価	
施設整備面 (Provision)	安全性	耐震化												
		老朽化対策												
		避難所としての防災機能												
		防犯対策												
	有効性 (多様性)	狭隘度・教室不足への対応												
		学習内容・形態等への対応		・教材・教具の整備・管理状況	・教室は自分の物を置きやすくなっていますか ・特別教室は学習するのに使いやすいですか ・体育館やグラウンドは遊びやすいですか	・来校者に学校の活動や児童・生徒の活動がわかる校内掲示がある。(学習環境を整える校内掲示)	・教育活動の充実をはかるため、施設・設備等の充実を図っている。				・学級園・学校園等、校地内は美しく整備されているか。 ・教室や廊下等、教育環境は計画的に整備されているか。			・施設・設備は効果的な教育活動を行うのに適している。
快適性	情報化		学習環境の充実度に関する項目 評価主体:学校											
	健康・保健衛生への配慮													
施設運営面 (Management)	安全性	安全点検(維持管理)	・学校は、施設・設備の安全について、全職員で定期的に点検活動を行い、迅速に処理する等校舎内外の安全管理に努めている。	・日常的な点検と管理状況 ・安全点検の実施状況		・破損箇所に対する対策が施されている。(安全管理体制)	・施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	・学校が、生徒の安全確保について取り組んでいる。	・子どもたちの安全確保や、安全に必要な条件整備の充実を図るよう努める	・安全点検の実施と対策は適切でしたか ・校舎内外の整備・管理・利用は適切でしたか	・安全点検は計画的に実施し、行き届いた改善がなされているか。 ・校地・校舎の維持管理について、教職員が協力して実践しているか。	・学校施設の管理・運営は十分であるか。 ・公共物愛護の指導・破損場所への処置は適切であるか。 ・自分の担当箇所の安全管理等はよくできているか。	・定期的な点検を実施し、施設・設備の維持管理、安全確保に努めている。	
		快適性	・学校は、教室や廊下、特別教室、校庭などの清掃、整理・整頓など環境整備が行き届いている。		・教室の照明は明るくて学習しやすいですか ・トイレを気持ちよく使うことができますか ・水飲み場は気持ちよく使えますか	・校内の学習環境が整えられている。(清掃・美化) ・児童・生徒による校内清掃が行き届いている。(清掃指導)	・校舎の衛生管理・清掃が行き届いている。	・学校で清掃美化や環境整備がなされている。	・教室環境の美化につとめることができましたか		・整理整頓された望ましい教室環境であるか。 ・清掃活動に本気で取り組むための指導の手立てはできているか。			
		施設・設備の有効活用	教員は、図書室・コンピュータ室等の特別教室や教育機器を計画的に授業に使用するよう努めている。	・学習効果を高める視点からの効果的な活用状況		・各教科の備品や教材教具が十分に活用されている。 ・図書室や視聴覚教室、パソコン教室などを積極的に利用している。	・学校が、施設・設備を有効に利用している。		・多目的ホールを効果的に活用しましたか	・施設・設備を教育の場でよく活用できているか。			・施設・設備の効果的な活用に努めている。	
	効率性	学校開放等(地域の拠点としての学校施設づくり)												
		ランニングコスト等												
	施設整備・運営両面	環境配慮	環境対策						・水光熱費や用紙等の無駄を省き、省エネやリサイクルに取り組んでいる。					
その他	その他							環境対策(運営面)に関する項目 評価主体:学校					・校地経営や学級花壇(園)は充実しているか。	

(参考)

カテゴリー	カテゴリー	項目	東京都K区	三重県L市 教育委員会	大学評価・学位授与機構 による大学評価基準	私立幼稚園の自己評価 (全日本私立幼稚園幼児教育研究機構)	諸外国における学校施設の評価 (OECD・PEB 教育施設の質の評価のためのフォーマット)
			(公共施設マネジメント)	学校経営方針	第三者評価	設置者・園長用	第三者評価
施設整備面 (Provision)	安全性	耐震化	・構造安全性(現行耐震基準への適合)	・既存施設の耐震補強整備・給食室衛生強化・防犯対策などを行い、子どもの安全確保を図る。		・地震などの自然災害に対する防災対策が整っている	・自然災害対策は取れたか
		老朽化対策	・大規模修繕(建物の老朽化による大規模修繕の必要性)	・老朽校舎等の改築整備とあわせて既存施設の改修整備を行い、学習環境の改善に努める。			
		避難所としての防災機能					
		防犯対策		・既存施設の耐震補強整備・給食室衛生強化・防犯対策などを行い、子どもの安全確保を図る。(再掲)		・幼稚園施設整備指針第8章(防犯計画)に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている	・安心は確保されているか
	有効性 (多様性)	狭隘度・教室不足への対応		・児童生徒数の将来推移を見極め、状況に応じて増築などによって対応する。			
		学習内容・形態等への対応		・教育内容や教育方法の変化に柔軟に対応するため、諸室の機能変更など、既存施設の改修整備を行う。	・大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、有効に活用されているか。	・幼児がそれぞれの興味や関心、能力に応じて、全身を使って活動することができる環境を整えている ・幼児がさまざまな活動や体験するのに適切な環境を整えている ・幼児がさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている	・十分にフレキシブルか ・多目的利用可能か ・児童生徒の年齢に適しているか
快適性	情報化				・教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが適切に整備され、有効に活用されているか。		
	健康・保健衛生への配慮	・機能改善(環境面) (吹付けアスベストに対する安全性)	・既存施設の耐震補強整備・給食室衛生強化・防犯対策などを行い、子どもの安全確保を図る。(再掲)			・幼稚園設置基準第9条(施設及び設備等)をふまえ、衛生管理に努めている ・学校保健法第19条(保健室)により、保健室を設置している	健康と快適性 ・衛生的か ・人間工学的に快適か ・温熱的に快適か ・視覚的に快適か ・音響的に快適か
		バリアフリー化	・機能改善(機能面) (バリアフリーへの対応状況)	・安心で快適な学校生活を過ごせるよう、バリアフリー化整備の推進や教育相談室を充実する。	・施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。		・軽度又は中度の特別支援が必要な児童生徒の受け入れは可能か。
施設運営面 (Management)	安全性	安全点検 (維持管理)	学校施設の整備に関する項目 評価主体:設置者		・施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員に周知されているか。	・幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている ・幼稚園設置基準第10条をふまえ、安全管理・衛生管理に努めている ・消防法第17条(消防用設備等の設置、維持)により、消防用設備等を設置し維持している	
		快適性	清掃・美化				
	効率性	施設・設備の有効活用					・効果的かつ総合的に計画され、かつ管理されているか。
		学校開放等 (地域の拠点としての学校施設づくり)					・利用者のニーズを満足しているか ・地域に開放されているか ・地域を、施設の設計、計画、日常施設管理、修繕及び施設利用に参加させているか
		ランニングコスト等	・維持管理(維持管理費の効率性)(再掲)			初期施設投資の長期的費用対効果 ・建設コストは ・メンテナンスと修繕は ・運営費と人件費は	
施設整備・運営 両面	環境配慮	環境対策		・校(園)の緑化整備を通して、子どもたちに学び舎を大切にすることを育て、校(園)舎等施設と学校(園)敷地の良好な環境の維持に努める。		・幼児が身近な自然や社会とかわることができるように配慮している	環境の持続可能性への配慮 ・敷地選定又は配置計画で環境に配慮できたか ・水、エネルギー、リサイクル、ごみ処理及び自然光を、効果的かつ効率的に利用するか ・持続可能な工法や建材を利用するか
その他	その他			環境対策(整備面)に関する項目 評価主体:設置者		・幼児が生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境を工夫している	感動的・象徴的な施設か ・建築的に革新的か ・教育的に革新的か ・技術的に革新的か ・社会・文化的に革新的か